地域づくり協議会

みよし通信

平成25年1月24日
発行

第30号

発行:地域づくり協議会「みよし」
企画編集:地域づくり支援員(横川・笹子)
〒294－8701　南房総市谷向100番地(三芳分庁舎内)
TEL:0470－36－1185
FAX:0470－36－1133

南房総市 成人式

南房総市の成人式が、1月13日(日)に白浜フローラルホールで行われました。当日は、穏やかな天候に恵まれ、華やかな晴着姿の新成人たちが、二十歳の門出を祝いました。

三芳地区では成人式の対象(平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれ)になる42人のうち36人が出席。会場では友人たちとの久しぶりの再会を喜び、思い出話に花を咲かせ、携帯電話やカメラで記念撮影をしていました。

式典では新成人を代表し、太期壮太郎さん(三芳)と川上大樹さん(和田)が新成人の誓いを述べました。

二十歳の決意　新成人代表　太期　壮太郎さん

今日ここに、二十歳を迎えた私たちは、何に誓うのか。私自身も、この日を迎えるに当たり、幾度も幾度も思いを巡らせました。辿り着いた一つの結論は、ただ「感謝」の一言に尽きます。その恩を伝えたいとの思いでここに立っています。この20年間を振り返ってみると、成長した姿でここにいるのは、多くの方々の真心・愛情が、私たちの血肉となっていると実感するからです。産み育ててくれた両親、家族。迷いそうな道を正してくれた恩師や先生方。常に暖かい眼差しで見守り励ましてくださった地域の皆様。この場をお借りして、改めて感謝をお伝えいたします。本当にありがとうございました。

この成人式を境に、私たち一人ひとりもまた、社会の一員として、責任を果たし、支える側となりました。しかし、社会に踏み出す私たちを取り巻く環境は、決して明るいものばかりとは言えません。百年に一度の大不況に加え、先の東北大震災、出口の見えない政治と、いくつもの難題が私たちの希望を阻みます。友人たちと対話を重ねても、もはや世間のあきらめや焦燥感は、日常化してしまったとも感じます。果たして若い私たちが、希望を失ってはならないと、ここで誓いたいのです。私はあえて「青年である若い私たちが、希望を失ってはならない」と、ここで誓いたいのです。例え、周囲に不安を紛らわせて生きていく大人しか見当たらなくとも、私たちは私たちの人生を歩むために、自ら悩み、活路を切り開いていかねばならないのです。

私には、3.11東日本大震災に被災した友人が何人もいます。ある友人は家を流され、ある友人は親兄弟、友人を亡くしました。私は、想像を絶した苦しみと、対峙した彼らに寄り添うことしかできませんでした。しかし、誰に助けられるわけでもなく、彼らは悲しみと絶望を超越しました。ふるさとの復興のために各々が決めた道の第一人者になると、勉学に励み、人一倍の苦労を買っています。そこには「ふるさと」というかけがえのない思い、育ててもらった者への感謝、力強い希望がしっかりと根を張っていました。安房に由来のある、哲人の箴言に「蔵の財より身の財、身の財より心の財」とありますが、まさにものや形にとらわれない、固い決意、情熱こそが、希望を生むのだと気づかされました。「社会が悪い」、「生まれた時代が悪い」と曖昧に満たされない現実を嘆いても、現状は何も変わりません。震災など、自分には縁のないことだと、対岸の火事と、高をくくり生きていくのか。それとも、今の自分に希望はあるのかと自身に問わなければならない時代なのです。

現在、私は、育てて頂いた恩師の影響で児童教育の道を目指し、日々学んでいます。また、大学では男子寮の寮長として、700人を護る重責を担っています。経済的な理由から、幾つものアルバイトを兼務する中で、正直、心が挫けそうなことも多々ありました。しかし、ふるさとに帰る度、決意を語り合う友人に癒され、情熱を何とか保つことができました。ふるさとは本当にありがたい存在です。この経験を活かし、叶うことならばこの地の教育に携わりたいと願っています。

百年に一度の出来事を経験した私たちだからこそ、同じ日本の、東北復興を生きる私たちだからこそ、双肩が担うものは大きいはずです。耐え忍び、歩んだ足跡は必ず道となるはずです。冬は必ず春となる！私たちは傍観者では決してない。私たちが新たな時代の建設者なのです。

改めて、私たちは今ここに何を誓うのか。どこよりも、温かな南房総という、ふるさとに、はぐくまれた私たちは、いつ如何なる時も、この胸の中にある、希望と情熱を手離さず、友と共に力強く自分の人生を生きていきます。

新成人の誓いを述べる太期さん

農村センターでも新成人が感謝のサプライズイベント

新成人の皆さんと
その親御さんたち

新成人たちは育ててくれた親御さんたちへ感謝の気持ちを込めたサプライズイベントを開催しました。

白浜での集合写真

代表として村越さんが手紙を読み、全員でKiroroの≪未来へ≫を歌のプレゼントとして贈りました。
また、それぞれが感謝の手紙や花束、プレゼントなどを贈り、会場が喜びと感動の涙に包まれました。

2013年
2/17(日)
11時～15時
みよし交流館
～雨天決行～

みよし交流館の手作り感謝祭

みよかん祭（まつり）

地域づくり協議会「みよし」では、旧滝田公民館を「地域の交流の場にしたい」と活動しています。

無料 おしるこ あま酒

※なくなり次第終了

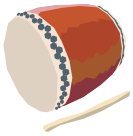
チーバくんも来るよ！！

イベントスケジュール

11:00　開会

11:10　竹笛づくり
（ファームイン杉田棟）

11:40　太鼓演奏
（みよし風の子）



13:00　チーバくんのジャンケン大会

13:20　紙芝居など
（正林寺住職）

14:00　太鼓演奏
（安房八幡太鼓）

14:30　ミカンの皮投げ大会
～表彰式～

15:00　閉会

※気象状況により内容を変更させていただきますのでご了承ください。

三芳 幼稚園児 小学生 作品展示

書写・絵画など多数
校外で未発表の作品も展示

お楽しみ みよクジ

1回 300円

※なくなり次第終了

フードコーナー

焼きそば	200円
豚汁	100円
ドリンク	100円

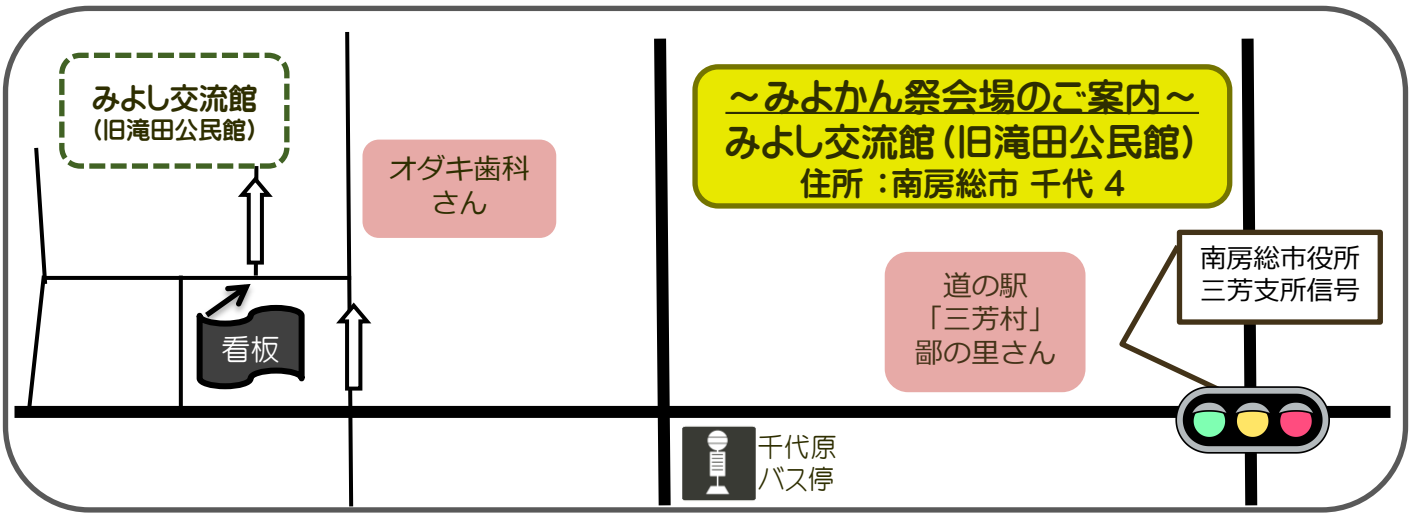
（コーヒー・紅茶・お茶）

フリーマーケット

※雨天中止

【企画運営 】
地域づくり協議会「みよし」
問合せ　南房総市谷向100
TEL:0470-36-1185（事務局）

みよかん祭～みよし交流館の手作り感謝祭～のご案内



フリーマーケット

～衣類・農産物・手工芸品の販売～

≪出店料≫1区画　500円
≪サイズ≫2.5m×2m
≪場　所≫みよし交流館グラウンド
※雨天時フリーマーケットは中止

フリーマーケットの出店者を募集しています。出店のご希望、また質問等ございましたらお気軽に「みよし」事務局（Tel36－1185）までお問い合わせください！

物品提供のお願い

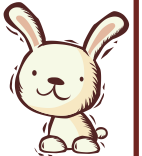
地域づくり協議会「みよし」では、みよし交流館（旧滝田公民館）を「地域の交流の場にしたい」と活動しています。
みよかん祭の開催にあたり、イベントで使う賞品の提供を、地域の皆様からも募っています。ご協力いただける方は事務局（Tel36－1185）までご連絡ください。

環境整備

地域づくり協議会「みよし」では、12月27日に地域センター入口を飾る槙の木の剪定と草刈りを行いました。年間を通して公共性の高い場所の環境整備や花の植栽管理を行い、少しずつかもしれませんが、地域のみなさんの目に触れる機会も増えてきたかと思います。これからも定期的に環境整備を行い、美しい三芳づくりのお手伝いをしていきます。

募　集　寺子屋講座・傾聴入門　話のきき方ワークショップ

東日本大震災以降、様々なシーンで他者の話を聴く【傾聴】が注目されています。もともと、ビジネスではコーチングの場面で、メンタルケアーではカウンセリングの過程で使われている傾聴ですが、職場や家庭でのコミュニケーションに活用されています。

この講座では基礎的な傾聴ワークを訓練します。
※昨年6月に満席だったため、ご要望により再開講します。前回と同じ内容ですが繰り返し訓練することにより、技術を身に付けることができます。

日時：2013年2月２８日（木）10時～
場所：みよし交流館（旧滝田公民館）
　　南房総市千代４番地
募集：要申込み・１０名程度
　　（お子様は入室できません）
参加費：1000円（昨年6月の受講者・500円）
申込み・問合せ：地域づくり協議会「みよし」
　　TEL３６－１１８５
　　（平日9時～17時まで）